

そよかぜ

320列マルチスライスCTを導入

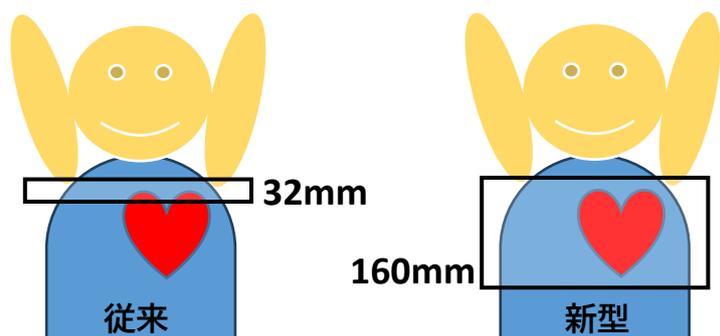
2024年11月、第2病棟1階 放射線科に設置してありました64列マルチスライスCTを最新型の320列マルチスライスCTに更新いたしました。

最新のAI(人工知能)技術と被ばく低減機構を搭載し、通常の輪切り画像の撮影をはじめ、脳血管や心臓血管などの特殊撮影においても高速で鮮明な画像を撮影することができます。従来の64列マルチスライスCTと比較して最大1/4程度まで被ばくの低減が可能になりました。



CT検査とMRI検査はどう違うの？

CTとMRIは、検査の仕組みや得意分野が異なり、どちらが優れているというものではありません。そのため、症状がある場合は、疑われる病気や部位に応じて、医師の判断でCTとMRIを使い分けています。例えば同じ頭であっても脳出血はCT、脳梗塞はMRIの方が得意です。



1回転における撮影可能範囲が広がり、従来と比べボケの少ない写真が撮りやすくなりました

CT検査

MRI検査

放射線(X線)を利用した検査

磁場と電波を利用した検査

検査時間が比較的短い(10分程度)

検査時間が比較的長い(20分~1時間程度)

【長所】

- ・騒音、閉塞感が少ない
- ・骨、肺の内部構造などが明確に描出される
- ・体内に金属が入っていても撮影できる

【長所】

- ・放射線による被ばくがない
- ・軟部組織構造の描出に優れている
- ・骨によるアーチファクトが少ない
- ・造影剤を使用せずに血管の走行を描出できる

【短所】

- ・放射線による被ばくがある
- ・MRIに比べて軟部組織の変化がわかりにくい
- ・骨に囲まれている部位はアーチファクト(画像の乱れ)が出やすい

【短所】

- ・装置が狭い
- ・騒音が発生する
- ・動きに弱い
- ・骨などの石灰化層の情報が得にくい
- ・磁気に反応する金属などが体内にある場合、検査を受けられないことがある

今後も最新の技術で病気の発見、診療のお役に立てるよう努力してまいります。

検査に関するご質問などありましたら、お気軽にお声掛けください。

放射線科